

那覇西男女制す クラブ ハンド

ハンドボールの仲田豊順
杯争奪第11回クラブトーナ
メント最終日は28日、八重
瀬町の東風平運動公園体育
館で行われ、男女とも那覇
西クラブが優勝した。男子
は2年ぶり4度目、女子は

3年ぶり7度目の栄冠。

【男子】
▽進決勝

CORE 25 1510
1212 24
パームヒ
ルズ

那覇西ク 21 1011
1212 20
BIC

【女子】
▽進決勝

那覇西ク 30 1515
1713 6
FUGO

シールズ 29 1514
1312 25
レキオク

那覇西ク 41 2318
1111 22
CORE

▽決勝

那覇西ク 34 1717
1320 7
シールズA

地力見せつけ

王座を奪還

2年ぶり男子

○：多彩な攻撃パリエーションで、COREに力の違いを見せつけた那覇西クラブ。20点以上の差をつけ王座奪還を果たした。

新しいメンバーが加入し、より守備の精度を上げるためフォーメーションを横一線に変えて臨んだ。

前半は相手のフットワークに乱されたが18-11でリード。後半は、喜友名翔太が18-2殊の長身を生かした守備で相手攻撃を阻みリズムを作ると、チームはいきなり5連続得点。こじから加入した中村開も、打点の高いシュートを決め、



男子決勝 那覇西クラブCORE 前半、シュートを決める那覇西クラブの中村開(右) 11月28日、八重瀬町の東風平運動公園体育館(桑原晶子撮影)

女子決勝 那覇西クラブシールズA 後半、シュートを放つ那覇西クラブの大城麻美(左)



さらに得点を重ねた。

主将の友利彬彦は「ここ1、2年ずっと優勝できずに悔しかった。エースが仕事で不在という中で、若手がよく頑張ってくれた」と、晴れ晴れとした表情で語った。

3年ぶり頂点
危なげない女子
○：女子決勝は、那覇西

クラブが攻守ともに連携の取れた危なげないプレーでシールズAを圧倒。14点差で快勝した。

準決勝のわずか数時間後の試合に、両チームとも出だしは疲れが見えた。それでも大城麻美を起点としたテンポ良いパス回しで相手を翻弄(ほんろう)。積華菜のポストプレーも決まり、波に乗った。

梅シオンが変わり「少し戸惑った」(國川友希主将)が、攻守の早い切り替えて速攻も連続で成功。3年ぶりの頂点に立った。チームの大黒柱・國川は「ベンチが盛り上げてくれた。全員で点が取れた」と、感謝を口にした。「この勢いで、県内では負けなしのチームを目指したい」と意気込んだ。